

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都） の運営について

当施設の運営は、以下に示すとおり、利用者の皆様にいただく使用料のほか、市民の皆様の税金等によって支えられています。

そのため、本施設の運営の現状について「見える化」を図り、施設の状態に応じた収支改善（維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上等）に取り組むなど、更なるサービスの向上や効率的な運営に努めてまいります。

施設の概要

当施設は、「大学のまち・京都」「学生のまち・京都」のシンボル施設として、大学間の交流促進をはじめ、大学と産業界、地域社会などとの連携及び交流促進を目的に、平成12年に開設した施設です。

当施設には、講義室、演習室、会議室、ホール、和室等、少人数から約280名まで利用できる部屋を備え、講義、演習、会議等又は大学に関する情報の収集及び提供、大学と産業界、地域社会の協力による豊かな地域社会の形成に資する調査及び研究並びに人材育成のために利用することができます。

また、京都のまちで主体的に活動を行う学生団体等が、会議や作業、情報の発信・集約の場として、また、学生同士や学生と地域の方、企業の方との交流の場として活用いただけるスペースも設置しています。

令和4年度における利用者1人当たりの支出・収入（概数）

入館者1人当たりに換算すると、講義室等の貸出による年間の収入は480円（総額1.2億円）であり、利用者1人当たりの運営経費（550円）の87%を賄っています。

令和4年度の入館者数 24.2万人

（金額についてはいずれも概数10円単位で四捨五入）

<支出：550円（総額1.3億円）>

人件費 40円	事業費 510円
------------	-------------

※ 支出総額は指定管理費から目的外使用料収入を控除したもの

<収入：480円（総額1.2億円）>

施設使用料 480円（87%）	差額70円（13%） ← 市民の税金で負担 （公費で負担）
--------------------	-------------------------------------